

<b>福祉思想論</b>			科目コード	DH2109
単位数	履修方法	配当年次	担当教員	
2	R	1年以上	田中 治和	



## 科目の概要

### ■科目の内容

なぜ福祉思想論を学ぶ必要があるのでしょうか。それは社会福祉実践、及び社会福祉学研究の対象の特性に尽きます。この対象とは、人間の生きる過程に生じた諸々の社会問題、具体的にはひとり一人の人生に到来した苦しみ、悩み、悲しみの事象といえます。それへの社会的施策として登場したのが、社会保障制度や社会福祉実践です。もちろん施策・制度の充実も必要ですが、究極的には実践等を営む人間の思想、そして生き方が厳しく問われることは言うまでもありません。そのためにも我々の先達である方々の社会福祉実践の底流にある思想を、丁寧に学ぶ必要があります。幅広く奥行き深い科目ですが、どうぞ自らの思想を涵養するためにも受講されてください。

### ■到達目標

- 1) 選択した時代区分における思想の特色を簡潔に述べることができる。
- 2) 選択した時代区分における思想の特色をもとに自分の考え方を述べることができる。
- 3) 現代社会における様々な価値観と結びつけて思想の意味を述べることができる。

### ■教科書

吉田久一・岡田英己子著『社会福祉思想史入門』勁草書房、2000年

### ■「卒業までに身につけてほしい力」との関連

とくに「専門的知識」「他者への関心と理解」「社会への関心と理解」を身につけてほしい。

### ■科目評価基準

レポート評価60%＋科目修了試験40%

### ■参考図書

吉田久一著作集1『日本社会福祉思想史』川島書店、1989年

丸山真男著『日本の思想』岩波新書、1961年

## レポート学習

### ■在宅学習15のポイント

回数	テーマ	学習内容	学びのポイント
1	欧米社会福祉思想（史）の方法（序章）	欧米の社会福祉思想を学ぶ意義について理解する。	社会福祉実践および社会福祉学の基盤となる福祉思想を学ぶ意義を学習してください。
2	中世以前の事前救済の福祉思想（第1章）	ギリシアの博愛、ユダヤ教の事前思想、キリスト教の隣人愛・カリタスについて理解する。	福祉思想の源流となる慈善と博愛について学習してください。
3	中世の事前救済事業思想（第2章）	カトリック慈善事業、ルターの救貧思想、都市救貧事業の思想と実践などについて理解する。	宗教改革前後の公的救貧思想および都市救貧制度について学習してください。
4	市民革命と自由・平等の人権思想（第3章）	イギリス救貧法の影響、フランス革命と「自由・平等・友愛」の人権思想などについて理解する。	西欧・米の国民国家のための福祉思想について学習してください。
5	博愛事業思想と市民主導型ボランティア（第4章）	イギリスの博愛事業と貧困問題、アメリカの博愛事業、ドイツとスウェーデンの救済システムについて理解する。	欧米各国の博愛事業について学習してください。
6	社会事業思想とソーシャルワークの創出（第5章）	欧米の社会事業成立期（ソーシャルワークの創出期）の諸課題について理解する。	社会事業の職業化、つまりソーシャルワークの創出について、ジェンダー化という視点から学習してください。
7	現代社会福祉思想の登場と変貌（第6章）	現代社会福祉思想の全般的動向とその課題について理解する。	社会民主主義の登場と、大恐慌後の大量失業問題への対応策としての種々の生活保障構想の意味を学習してください。
8	戦後福祉改革と福祉国家思想・運動の新たな模索（第7章）	戦後福祉改革と福祉国家の動向とその思想および運動について理解する。	第2次大戦後の福祉国家制度の成功と低迷について学習してください。
9	20世紀終末期の欧米社会福祉思想（終章）	欧米社会福祉思想の評価、および方法論について理解する。	社会福祉思想の方法論と、改めてそれを学ぶ意義について学習してください。
10	（日本の）近代以前の福祉思想（序章・第1章）	古代社会および中世封建社会の福祉思想について理解する。	仏教の福祉思想、キリストの慈善思想について学習してください。
11	明治の救済事業思想、慈善事業思想（第2章）	明治期の公的救済事業、慈善事業思想、および感化救済事業思想について理解する。	プロテスタントの慈善事業思想および感化救済事業について学習してください。
12	大正デモクラシーと社会事業思想（第3章）	社会事業思想の形成と成立、および挫折、ならびに戦後厚生事業思想について理解する。	社会事業思想と戦時厚生事業思想について学習してください。
13	戦後の社会福祉思想（第4章）	戦後占領期、高度成長期、および低成長期の社会福祉思想について理解する。	戦後社会事業思想と社会福祉成立期の思想と理論について学習してください。
14	20世紀終末期の社会福祉思想①（第5章）	20世紀末の欧米および日本の社会福祉思想について理解する。	20世紀末の（現在にも連続している）社会福祉思想について学習してください。

回数	テーマ	学習内容	学びのポイント
15	20世紀終末期の社会福祉思想② (第6章)	社会福祉の普遍化・多元化、市場論、グローバル化「自立」論などを理解する。	近年の社会福祉思想に連続する論点について学習してください。

## ■レポート課題

1 単位め	『客観式レポート集』記載の課題に解答してください (Web 解答可)。
2 単位め	「第Ⅱ部 日本の社会福祉思想史」の全体の内容を踏まえて、第1章から第6章までのなかからひとつの章を選択し、その内容をまとめ、考察してください。記述にあたっては、なぜその章を選択したのか理由を述べ、その章の内容に対する自らの意見を述べてください。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

**(2018年度以前履修登録者)** 2019年4月よりレポート課題の1単位めが変更になりました。『レポート課題集2018』記載の課題での提出は2020年9月で締め切りました。

## ■アドバイス

日本の福祉思想に比べて、ヨーロッパの福祉思想は長い歴史があります。福祉思想にとって重要なことは、教科書の序章の最初に書かれているように、純粋な哲学的発想ではなく、実際の日常生活に密着して考えていくことです。レポートはひとつの章を選択して提出するだけですが、思想、考え方の流れということもあり、全体をひとつの流れとして捉えてほしいと考えています。

**1 単位め  
アドバイス** 教科書をよく読み、『客観式レポート集』記載の課題に解答してください。「TFU オンデマンド」上で解答することも可能です。

**2 単位め  
アドバイス** テキストの第Ⅱ部をよく読み、日本の社会福祉思想の流れを読みとってください。宗教や社会体制についても理解を深め、簡潔に述べてください。そのなかで、ひとつの章を選択し、深く考察を加えてください。日本の福祉社会を考えたとき、どのような考え方、意識をもち、今日までの思想の流れを捉えるか、そして、これからの時代に何が望まれるかを考えてください。

## 科目修了試験

## ■評価基準

教科書の内容理解に努めること。